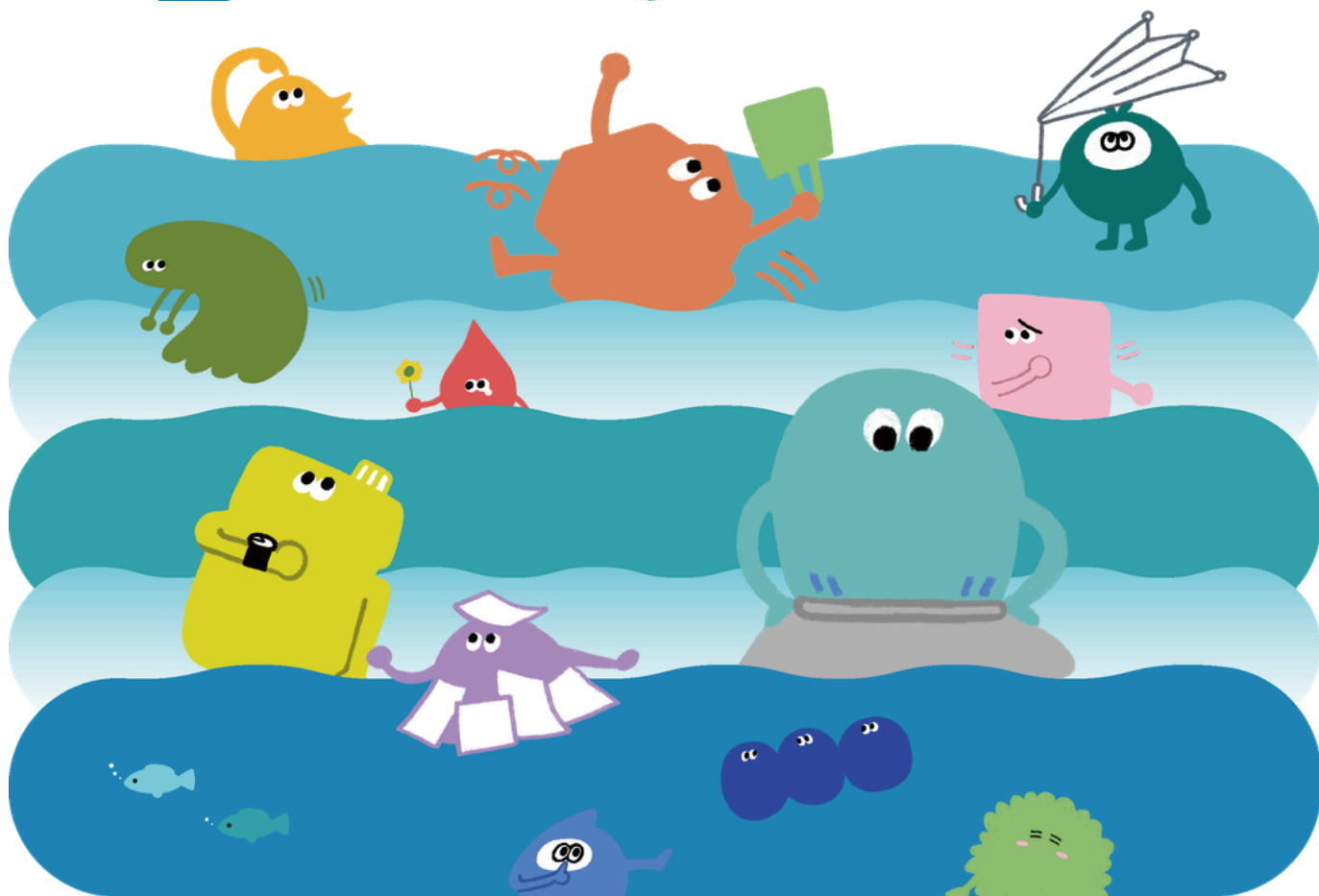


拾って、描いて、地球を救え！

私も変わる対話型ごみ拾いプログラム

うみごme



日程 令和8年6月27日 (土)

会場 大洲市長浜保健センター

時間 9:30-11:30

事前申込制です。詳しくはこちらから→



市ホームページ
(うみごme)

6 / 27
(土)

主催：大洲市

協力：issue+design（日本財団の助成を受け、協力しています）、愛媛県立長浜高等学校水族館部

申し込み連絡先：大洲市役所 環境生活課 0893-24-2111（内線532）

「回収」と「抑制^{よくせい}」を同時に行う うみごme^{めい}とは？



拾っても、拾っても、なかなか減らない海ごみ。その裏側には「ごみ」自体を生み出してしまっている私たちの社会で何が起きているのか、私たち自身がそこに向き合っていないという現実があります。「うみごme」は、身近に落ちているごみを収集し、そのごみからみえてくる私たちの社会の「小さな身勝手さ＝エゴ」を可視化することで、海ごみを生み出している社会構造に向き合うためのプロジェクトです。

ワークショップの流れ

【うみごme 入門編】

落ちているごみを整理・分類し、ごみを生み出してしまっている私たち1人1人の中にある「気持ち」を特定していったところ、ゴミにつながる『うみごme』があることがわかってきました。対話型ごみ拾いプログラム『うみごme』は、この『うみごme』を活用し、実際に身近なゴミを拾い、参加者同士で学びを深める対話形式で行います。



STEP 1
身近な
ゴミを拾う



STEP 2
ゴミの状態
から考える



STEP 3
うみごmeで
分類する



STEP 4
自分の暮らし
をふり返る



STEP 5
ゴミになる
気持ちと
お別れする



つめごみゴミ



サクめしゴミ



ごほうびゴミ



ひきよせられゴミ



うっかりゴミ



雨の日ゴミ



かくしゴミ



土にかえる？ゴミ



おとぼけゴミ



落としものゴミ



まちぼうけゴミ



おいのリゴミ



知らずゴミ



拾ってきたゴミを捨てたときのひとの気持ちで分類していきます。落ちていた状況を振り返りながら、なぜゴミが生まれているのかを考えます。



ワークの最後には、1人1つずつ、自分自身の中にあるゴミにつながる気持ちを表現し、お別れをする儀式を行います。

主催 | 大洲市

瀬戸内海に面した長浜の海岸には、日々多くのごみが流れ着いています。その多くは、川から流れた街のごみです。残念ながら、今もたくさんのごみが海に届き、魚たちのすみかや美しい景色に悪い影響を与えています。

この現状を変えるため、大洲市は「issue+design」と連携し、親子で楽しめる「うみごme」を開催します。きれいな海を守っていくために、私たちができることを一緒に見つけてみませんか？ぜひ親子でご参加ください。

<https://www.city.ozu.ehime.jp/soshiki/kankyo/72864.html>

プログラム協力 | issue+design

「社会の課題に、市民の創造力を。」を合言葉に、2008年から始まったソーシャルデザインプロジェクト。市民・行政・企業が参加し、地域・日本・世界が抱える社会課題に対して、デザインの持つ美と共感の力で挑む。東日本大震災のボランティアを支援する「できますゼッケン」、認知症の方が生きる世界を見える化する「認知症世界の歩き方」他、行政や企業とともに多様なアプローチで地域が抱える課題解決に挑むデザインプロジェクトを多数実践中。

<https://issueplusdesign.jp/>